

『都市の経済学 小テスト No. 1』 (1問1点、11点満点)

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっているので、問題の解答番号に入る数値または選択肢番号を解答用紙（マークシート）に解答すること。

※で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

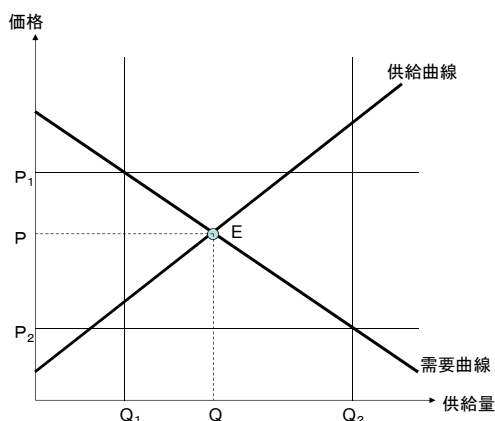
1. 授業の取り組み方について

- 1.1. 成績評価は小テストと期末試験の採点結果を利用する。成績評価に用いるそれぞれの割合は、小テストが (1420) %、期末試験が (3640) %となっている。
- 1.2. 授業で使用するレジュメは (52: ①授業で配布される、②自分で用意する、③レジュメはない)。

2. 都市経済学と住宅について

- 2.1. 都市経済学が定義する「都市」は、行政・政治的な「都市」と (61: ①異なっている、②同様である、③不明)。
- 2.2. 先進国において、都市化の最も早く進んだ国は (71: ①イギリス、②フランス、③米国、④日本) である。
- 2.3. 都市経済学の課題は、都市の諸問題における (82: ①個別の、②相互の、③ゼロ、④都市) メカニズムを把握し、理論と政策を提示することである。

3. 下の図は、アイスクリーム市場の需要と供給を表しており、点 E において均衡をしている。以下の問いに答えよ。なお、回答は以下の選択肢から選ぶこと (①右シフト、②左シフト、③シフトはしない、④均衡点)



- 3.1. 以下のような変化が生じた場合、需要曲線はどのように変化するか？適切だと考えるものに丸をしない。

- (イ) お小遣いが増加した (91)
- (ロ) 猛暑の夏だった (101)
- (ハ) かき氷 (代替財) が 50%off になった (112)

- 3.2. 以下のような変化が生じた場合、供給曲線はどのように変化するか？適切だと考えるものに丸をしない。

- (イ) アイスクリーム会社の新規参入があった (121)
- (ロ) 乳牛がかかる伝染病がはやった (132)